

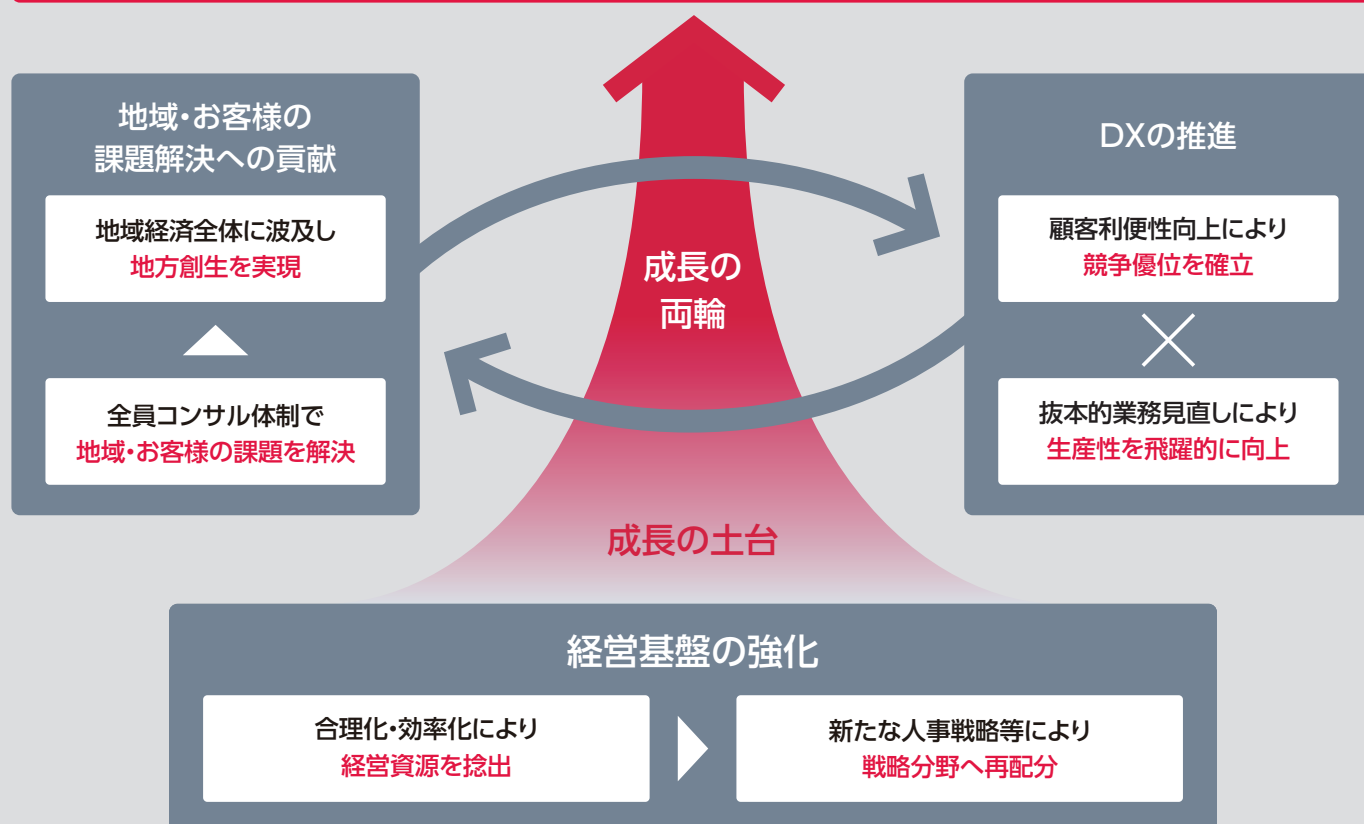
中期経営計画（2021年度～2023年度）

地域のリーディングバンクとして、地域の産業・事業を徹底的に支える

中期経営計画の概要

戦略分野であるコンサルティング（地域・お客様の課題解決）と、デジタル（DXの推進）を両輪に、ビジネスモデルの変革に取り組みます。また、2つの戦略分野を強力に推進するため経営基盤をさらに強化し、持続的な成長を実現する強靱な銀行を目指します。

ビジネスモデルの変革による持続的な成長



■ 目標とする経営指標

			最終年度目標	2021年度実績	達成見込み年度
収益性	連結	親会社株主に帰属する当期純利益	150億円以上	144億円	2022年度
		非金利収益比率 ^{※1}	15.8%以上	17.22%	達成済み
資本効率性		ROE ^{※2}	4.4%以上	4.29%	2022年度
効率性	単体	OHR ^{※1}	53%未満	55.02%	最終年度
健全性	連結	自己資本比率	12%以上	11.36%	2022年度

※1 コア業務粗利益ベース ※2 株主資本ベース

ESG経営の推進

SDGs実現に向け、リレーションシップバンキングをベースにESG経営を実践します。

	取り組むべき重要課題	具体的な取組内容
Environment 環境	環境ビジネスへの取り組み	環境関連ファイナンス・投資
	気候変動への対応	TCFD提言への取り組み
	環境負荷の低減	温室効果ガス排出削減
Society 社会	地域の事業の存続・成長	リレバン活動を通じた地域の徹底支援
	安心安全な社会の形成	安定した金融インフラを全てのお客様に提供
	地域社会への貢献	幅広い社会貢献活動の展開
	地域・お客様のSDGs/ESG後押し	新サービスの開発
	ダイバーシティ推進	多様な人材の活躍をサポート
Governance 企業統治	グループガバナンス強化	グループ連携の強化
	リスク管理の強化	各種リスク管理態勢の高度化

カーボンニュートラルの実現に向けた中長期目標

カーボンニュートラルの実現に向けて、山陰合同銀行グループ全社がさらに意欲的に取り組む方針を定め、中長期目標を設定しています。

目標

2030年度 温室効果ガス排出量 (Scope 1,2) のネットゼロ

2050年度 サプライチェーンを含む温室効果ガス排出量 (Scope 1,2,3) のネットゼロ

【当行グループでの取り組み】

これまでも営業店の照明のLED化や一部店舗の屋根を活用した太陽光発電等の環境負荷低減の取り組みを進めてきました。さらにこの動きを加速させ、省エネルギー設備への更新や再生可能エネルギーの活用等に順次取り組み、当行グループの温室効果ガス削減を進めていきます。

【地域のカーボンニュートラルに向けた取り組み】

- ・社会課題・環境課題解決に資するサステナブルファイナンスについて意欲的な中長期目標を掲げ、本業を通じて貢献する取り組みを進めています。
- ・自治体や企業と連携し、地域の脱炭素社会の実現への取り組みを積極的に展開しています。
- ・ごうぎんエナジー(株)を設立し、地方銀行として初めて再生可能エネルギー発電事業へ参入します。